

第1学年 道徳科学習プログラム  
みんなのためにはたらこう

指導者 面迫 美都代

ねらい 家族やみんなの役に立つ喜びを感じ、家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てる。

学習過程

児童の意識の流れ	教科・領域等	道徳科	体験活動、家庭・地域との連携	時期
<p>①自分のために家族の人はいろいろなことをしてくれている。</p> <p>②自分でできる仕事を見つけてやってみよう。</p> <p>③自分が決めた仕事をやり遂げることができたから、気持ちいいな。</p> <p>④家族の人が喜んでくれると、気持ちがいいな。</p> <p>⑤家族やみんなのためにできることを見つけて働くこと、みんなが喜んでくれてうれしいな。</p>	<p>②生活科「じぶんでできるよ」 【生活科における道徳教育の視点】 家庭生活を支えている人のことや、自分の役割に気づき、自分にできることを考え、行動しようとする心情を育てる。</p>	<p>①道徳科「かやねずみのおかあさん」 C (15) 家族愛，家庭生活の充実 家族の優しい心遣いや努力に感謝し，家族のためにできることは進んでやっていこうとする心情を育てる。</p> <p>④道徳科「ぼくのしごと」 C (12) 親切，思いやり 家族の役に立つ喜びを感じ，家族やみんなのために進んで働こうとする心情を育てる。 【本時】</p>	<p>クリーン活動 【体験活動における道徳教育の視点】 児童が協力し合い，学校周辺の地域のために進んで活動しようとする意欲と態度を養う。</p> <p>③家庭学習「じぶんでできることをしよう」 家でのしごと 【体験活動における道徳教育の視点】 家で自分のできる仕事を体験することで成し遂げたよさを実感する。</p> <p>⑤係，当番活動 【体験活動における道徳教育の視点】 児童が協力し合い，学級のために進んで活動しようとする意欲と態度を養う。</p>	<p>12月</p> <p>1月</p>

かぞくやみんなによるこんでもらうために、じぶんができることを見つけ、はたらこう